

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1065.75	2020/12/7
High	1067.38	2020/12/7
Low	994.50	2020/12/10
Close	1016.62	2020/12/11

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3571.00	2020/12/7
High	3577.70	2020/12/7
Low	3344.00	2020/12/10
Close	3399.00	2020/12/11

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2350.00	2020/12/7
High	2373.00	2020/12/10
Low	2265.00	2020/12/10
Close	2324.00	2020/12/11

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7874.00	2020/12/7
High	7979.00	2020/12/7
Low	7591.00	2020/12/10
Close	7771.00	2020/12/11



ニュースエクスプレス

Sedibelo 社、60Moz規模のプラチナ鉱山拡張、Kellプロセスによる選鉱工場建設に着手

南アフリカのPGM生産 Sedibelo Platinum 鉱山はピラネスバーク・プラチナ鉱山運営を拡大し、Triple Crown properties として知られるSedibelo Central、Magazynskraal、Kruidfontein とともに一体となった生産を行うと発表。推定1866トン以上の4金属（プラチナ、パラジウム、ロジウムの3PGMとゴールド）の埋蔵量を誇る世界最大規模の未開発PGM鉱床の一つとなる。ほとんどが浅い鉱床であるため、60年以上の操業持続が可能な安全性の高い採掘作業になるとされる。今回の拡張はSedibelo社の現金資金と将来のキャッシュフローで賄われ、最初の精錬製品が市場に出るのは2023年の予定。Triple Crown 鉱床の拡張採掘は、既存の露天掘りUG2鉱床とメレンスキー鉱床からの鉱石と同時に、二つの斜坑を利用して採掘される。

<https://www.engineeringnews.co.za/article/sedibelo-approves-60moz-platinum-expansion-construction-of-kell-beneficiation-plant-2020-12-11>

トヨタ、燃料電池大型トラックの新型を初公開「MIRAI」の新システム搭載、商用ニーズに幅広く対応

トヨタ自動車は12月11日、燃料電池（FC）大型商用トラックの新型プロトタイプを米国で初公開したと発表した。9日に日本で発売した新型「MIRAI」に搭載している第2世代のFCシステムを採用し、性能を向上させた。水素エネルギーの普及に向けて、FCトラックの実用化への取り組みを加速させる。

新型MIRAIのFCシステムは、トラックなど他のモビリティへの転用を前提に開発。性能を高め、航続距離も大きく伸びた。そのシステムを採用した新型トラックも、従来モデルより加速性能や柔軟性を大幅に向上。荷重量は8万ポンド（約36トン）、航続距離は300マイル（約480キロ）以上となり、幅広い商用トラックニーズに対応できるようにしている。

同社は2017年から、米ロサンゼルス港湾地域で商用トラックへのFC技術展開の可能性を検証する取り組みを実施。第1世代のFCシステムを搭載した大型商用トラックを19年4月に公開した。このトラックは、20年12月から貨物運送会社への納入を開始している。

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2012/11/news067.html>

天下一品、プラチナを使った高級「銀のどんぶり」限定販売

京都発祥の人気中華そばチェーン「天下一品」では、1年を締めくくる品として2019年から登場した「イヤードンぶり」を今年も発売。12月10日からは一部店舗で、12月15日からは公式サイトで、ともに数量限定での販売をスタートする。

貴金属のプラチナを使用した「銀のどんぶり」（本体は陶磁器で、陶磁器用銀色焼付塗装）はお値段なんと1万1500円！ 昨年の「金のどんぶり」を超える贅沢な仕様として、注目が集まっている。さらに昨年はW E B限定だった刻印入りリングが今年からは店舗購入分にも付属。コレクター熱を煽る一因となりそうだ。

<https://www.lmaga.jp/news/2020/12/193124/>

11月中国新車販売、トヨタ16%増

トヨタ自動車は4日、中国での11月の新車販売台数が前年同月比16.7%増の17万7700台だったと発表した。日産自動車も同日、11月は5.2%増の15万6319台だったと発表した。公表済みのホンダを含め、11月は3カ月連続で日系大手3社ともに前年実績を上回った。新型コロナウイルス下でいち早く回復が進む現地の新車需要を取り込んだ。

1~11月累計はトヨタが前年同期比10.3%増、ホンダは同0.5%増となった。日産は同6.6%減になった。

中国全体の新車販売台数は10月まで7カ月連続で前年実績を上回っている。新型コロナウイルス問題後にいち早く経済が再開し、中国政府による販売支援策も新車の需要を押し上げている。トヨタやホンダは主力車種を中心販売が堅調で好調ぶりが際立っている。

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO67021540U0A201C2916M00>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- WPICのアンニュアルコンファレンスは12月4日蘇州で「新エネ・新素材・新エコ」をテーマに開催した。貴金属業界、投資業界からおよそ400人超えの参加者が集まった。20社以上の通信社から約30人の記者が会議を報道するため現場に臨んだ。大会は生中継を行い、視聴者数は17.8万人超え。
- WPICは2020年第三四半期のレポートを11月18日に発表致しました。白金の需給が37トンの供給不足になるとの見通し。詳しくは下記をご覧ください。
https://platinuminvestment.com/files/786933/WPIC_Platinum_Quarterly_Q3_2020_JA.pdf
- 世界のプラチナ宝飾品市場は2020年上半期、新型コロナウイルス感染症の打撃を受けたが下半期は32%と大幅に回復。第三四半期は前期より27%上昇し、感染症拡大以前のレベルに迫った回復の鍵となるのは中国市場。詳しくは<WPICプラチナ展望 2020年11月号 中国のプラチナ宝飾品需要の伸び、世界の需要回復を後押し>をご覧ください。
<https://platinuminvestment.com/investment-research/perspectives>



@wpicjapan

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。